

会議の概要

会議の名称	第4回玉村町都市計画マスタープラン策定委員会
開催日時	平成23年9月30日（金）午前10時00分
開催場所	玉村町役場3階大会議室
出席委員	中村委員・本多委員・齊藤委員・蛭川委員・菅谷委員・大島委員 新井委員
欠席委員	村木委員・深澤委員
町側出席者	経営企画課・経済産業課・生活環境安全課・上下水道課 事務局：都市建設課 委託会社：アジア航測株式会社
会議の議題	(1) パブリックコメントの実施結果について (2) 玉村町都市計画マスタープラン地域別構想（案）について (3) 玉村町都市計画絵画コンクール集計結果と選定について (4) その他
会議録の作成方法	要点記録

主な発言（検討）内容

1 開会

2 あいさつ

3 資料の確認

4 議事

（1）パブリックコメントの実施結果について

事務局：（修正を行った意見について町の考え方の説明を行った）

中村委員長：3名からのご意見ということで人数は少ないが、13件のかなり突っ込んだ部分についてもご意見をいただいた。これについて、すぐにご意見をいただくことは難しいと思うが、「歴史資源」を「歴史資産」にするなど、細かい部分もある。その他ご意見があれば、後日でも記入シートで、ご提言いただければと思う。

（2）玉村町都市計画マスタープラン地域別構想（案）について

事務局：（前回説明した内容と相違する主な点と地域別構想の方針について説明を行った）

中村委員長：前回から約20ページが地域別構想として追加になっている。全体構想の変更点は、例えばP39将来都市像に「定住都市」という言葉が入った。地域別構想では、地域区分をこれまでの5地域から3地域に分けたことなどがある。それでは、地域別構想案について、ご質問をお願いしたい。

齊藤委員：東西北の3地域分けでは、40数年前の合併前の旧村の地域分けとほぼ同じなのではないか。それよりは東西南北と4つに区分けしたほうがよいと思う。また、後箇所を地域のつながりが深いということで、東部に入れたとのことだが、中央小ができた時から校区から外れているので、今更一緒にしても仕方がない気がする。下茂木や川井あたりを南部としたらいいのではないか。

事務局：確かに、旧村の区分けに近い分け方になっている。

中村委員長：これまでの5地域はどういう分け方だったのか。

事務局：前は県道や東毛広域幹線などの道路で地域分けをしていた。現在は合併が進み、旧町村単位で分けている事が多いため、もっと大きく分けて描いていきたいと考えている。

蛭川副委員長：地域というのは小学校区によって分かれているのではないかと思います。都市計画上だけで使う地域なのかどうかにもよるが、地域ごとの拠点の整備などの話し合いには、小学校区で分けていたほうがまとまりやすい。また、子どもたちが安心して学校へ通えるように、歩道のネットワークを整備していくようなことを、地域の絵のなかに入れてほしい。

事務局：歩道整備については、都市マスの中でも「歩いて暮らせるようなまちづ

くり」として表現はしているが、できる限り入れていきたいと思う。基本的な考え方として、地域内は歩いて暮らせるように歩道を整備し、他の地域へ行くには幹線道路を整備して、公共交通などで移動していただき、移動先では歩いて移動できるように歩道の整備をしていくというように考えている。

大 島 委 員 長：玉村町は、地域別に細かく分ける必要があるのか。外部者からの意見としては、面積的にも狭くひとつのまとまった地域に感じる。合併してから相当時間が経っていることを考えると、無理にわけてまちづくりしていくこともないと思う。

中 村 委 員 長：まさしく、根本的な問題と言えようが、事務局はいかがか。

事 務 局：合併が進み、地域分けを旧市町村単位で大きく分けているところが多い。国の指針で、全体構想と地域別構想をつくるようにとの指針があるので、それを尊重しながら進めている状況。玉村町のような小さな町を分ける必要があるのかとも感じるが、北部は分断要件である利根川があったりなどして、昔から分かれているので、そういった意味でも分けておいてもいいのではないかと考えている。地域別構想では、地域にある特色を活かしながらまちづくりをしていくことが書ければ、地域別構想をつくる意味もあるのではないかと考えている。

蛭川副委員長：地域を分けておかないと中心地区以外が過疎化し、どんどん人口が流出してしまうのではないか。魅力あるまちをつくるなら、住んでいる人が魅力を感じられるようにしなければならないと思う。細かく地域をわけて、目標をもって話し合い、地域を盛り上げていってほしいと思う。

事務局(委託会社)：地域分けについては、どこの市町村でも議論になる。しかし、地域をいくら細かく分けても、都市マスで検討する基本的な将来像や考え方などは、大きく分けても小さく分けても似たようなものになる。10月中旬から地区別懇談会を開催するが、地域分けにこだわるよりも地域から意見を細かく吸い上げ、都市計画マスタープランに、将来のまちづくりについての意見をどのように反映していくかを考える方が重要だと思う。

中 村 委 員 長：ご意見をいろいろいただいたので、事務局でご検討いただきたいと思う。

この件はここで終わりにしたいと思う。

この夏の台風で町内でも浸水の被害があったと聞いている。災害の対策についての陳情等は区長会長の本多委員さんのところへ上がってきているか。

本 多 委 員 長：台風15号の被害は特になかったが、台風12号により道路はいたる所で冠水し、床下浸水も20件ほどあった。上新田地区でも多かったと聞いている。原因は時期的に田に水がはってあり、雨水が田んぼに吸収されずに道路に出てしまったという見解。排水の工事をやっているとは聞いているが、豪雨のたびに床下浸水、土嚢を準備しなければならない等、困ることが多いので排水等の整備を早く進め、安心して生活できるようにしてほしいと思う。

中 村 委 員 長：地域別構想で、3地域とも浸水対策の強化を行うということが明記されているが、上下水道課長さんから具体的に浸水対策についてご説明いただけるか。

上 下 水 道 課：雨水対策として、ボックスカルバートを斉田上之手線に設置の予定。また、上飯島から滝川までのルートは今年の5月に完成した。今年度は、滝川までの残り126mを整備予定だが、国道を通行止めにしななければならないので、土木事務所と協議中。滝川へ流す工事が終われば、浸水対策としてかなり効果が出てくると思う。

中 村 委 員 長：住民代表として新井さんにご参加いただいているが、前回の委員会の時に新しいものをつくるだけでなく、「今住んでいる住民が暮らしやすくなることを考えてほしい」というご意見が出たが、今回の地域別構想にそれらは盛り込まれているか。

新 井 委 員：内容が大きいので、細かな部分が盛り込まれているかどうかは分からない。私の意見は地域別懇談会のような場所に出てくる意見なのかな、とも思う。別件で、町内で台風の被害はどのくらいあったのか。また、排水整備はどのくらいの期間をかけて行うのか。

生活環境安全課：台風12号は、8/31の晩から9/1にかけてトータルで約400mmの豪雨をもたらした。まち全域で排水路だけでは飲み込めずに道路が冠水し、宅地内に浸水した。町の情報としては、約床下浸水30戸、床上浸水2戸との報告がある。国道354号も午前中は全面通行止めとなった。今後は、いかに早く雨水を滝川に抜くかという整備を対応していかなければならないと思う。9/20～9/21の台風15号に関しては、それほど大きな被害はなかったが、山の方が大雨だったので、夜になって利根川の水位が急激に上昇し、町と消防で巡視にあたった。水位は最高で6mまで上がったが、堤防を越えることはなかった。

中 村 委 員 長：地価調査があったと思うが、全国的に軒並み下落していると思う。今回のマスタープランでは、新規の宅地や工業地を検討しているが、この地価の下落の影響はどのように影響を与えるか専門的な立場で菅谷さんからご説明いただければと思う。

菅 谷 委 員：7月の調査では群馬県内全地点でマイナスであった。それは震災の影響も少なからずあるが、今回のように台風で浸水する要因があると、影響することが考えられる。来年1月に地価公示については、水害や地震を考慮した土地の安全性の方が重要視されるのではないか。町で地盤調査も行って、ハザードマップなどの整備が必要ではないか。

中 村 委 員 長：ではこの件はここで終了し、次の議題に移りたいと思う。質問があったら、質問シートをお願いします。

(3) 玉村町都市計画絵画コンクール集計結果と選定について

事 務 局：335名の参加があり、第一選定として56名を庁内で選ばせていただいた。町長より町長賞を既に1点選んでいる。今回は、委員長にも委員

長賞として1点選んでいただき、委員の方、課長の方にそれぞれ1点ずつ選んでいただきたいと思います。



絵画コンクール選定の状況

【選定結果】

- ・委員長・町長賞 2名
- ・入賞：13名

【選定理由】

◇中村委員長

・田園都市というイメージにぴったり合う。町と田園を橋でつないでうまく表現していると思います。

●本多委員

・エコがテーマとなっていて、自然とソーラーカーが走っているということをポイントとして選びました。

●蛭川委員

・ひまわり通りとなっており、歩道と車道が分かれて家族が安全に歩いているのがきれいに表現されていたので、選びました。

●大島委員

・太陽光発電、川を利用、風を利用、緑を増やすというエコの発想のもと良く描けているので選びました。

●菅谷委員

・人口20万人超えの玉村市、緑も残しつつ発展をとということで選びました。

●新井委員

・1年生から選びました。二人で協力して合わせた絵を描いて、「緑とお花と笑顔がたくさん」というテーマも印象に残り選びました。

●齊藤委員

・「にぎやかな玉村町」という題で玉村空港と飛行機、観覧車とないものばかりだが、夢のあるものを選びました。

○経営企画課長

・子どもは50年以上先の未来を描いているのか、県央地域がひとつになっていることも考えると、新幹線も描かれているが、これもあるのかと思い、また、絵が上手だったので選びました。

○経済産業課長

・3～4年生から選びました。緑が非常に多い玉村町をこれからも残してほしいと思い選びました。

○生活環境安全課長

・「きれいな町がいいな」という題で、上には未来の車や電車、真ん中には川があって、下の方には緑や自然があり、1年生から選びました。

○上下水道課長

・4年生から選びました。動物が細かく書いてあり、「動物がいっぱいの玉村町」という作品を選びました。

○都市建設課長

・緑があって、水があって、学校の上にも太陽光発電があってという作品を選びました。

中 村 委 員 長：本日選んでいただいた作品は都市マスの挿絵として使用するということ。次第にその他とあるが、事務局のほうで何かあるか。他に質問もなければ事務局にお返ししたいと思います。

事 務 局：本日選んでいただいた作品は町のホームページや都市計画マスタープランの冊子に掲載したいと思います。また、本日いただいた地域別構想へのご提案は検討したいと思います。次回の開催予定としては、10月の半ばに各地域での懇談会を行い、意見を頂戴しそこから修正等を行って最終的な報告書案をまとめてから、開催日をご案内したいと思います。次回の日程が決まったら、通知したいと思います。本日はありがとうございました。

5 閉会
